

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成25年9月12日(2013.9.12)

【公開番号】特開2009-199065(P2009-199065A)

【公開日】平成21年9月3日(2009.9.3)

【年通号数】公開・登録公報2009-035

【出願番号】特願2008-332382(P2008-332382)

【国際特許分類】

G 0 2 B 6/26 (2006.01)

G 0 1 C 19/72 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 6/26

G 0 1 C 19/72 P

G 0 1 C 19/72 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年8月1日(2013.8.1)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

中央部分、第 1 の端部を持つ第 1 の端部分、および第 2 の端部を持つ第 2 の端部分によって規定される 1 つの光ファイバーを有する光ファイバーシステムを構成するための方法であって、

前記光ファイバーの前記第 1 の端部分および前記光ファイバーの前記第 2 の端部分を支持する働きをする結晶基板支持構造体を形成するステップと、

軸に沿って前記支持構造体内に V 溝を形成するステップであって、前記 V 溝は、中央 V 溝部分、第 1 の端部 V 溝部分、および第 2 の端部 V 溝部分によって規定され、前記 V 溝部分の各々は、前記軸に沿って端から端まで整列されるステップと、

前記光ファイバーの前記第 1 の端部が、前記中央 V 溝部分の方へ向けられ、前記軸に沿って整列されるように、前記光ファイバーの前記第 1 の端部分を前記第 1 の端部 V 溝部分に物理的に結合するステップと、

前記光ファイバーの前記第 2 の端部が、前記中央 V 溝部分の方へ向けられ、前記軸に沿って整列され、前記光ファイバーの前記第 1 の端部と向かい合うように、前記光ファイバーの前記第 2 の端部分を前記第 2 の端部 V 溝部分に物理的に結合するステップと、

前記光ファイバーの前記第 1 の端部分と前記光ファイバーの前記第 2 の端部分との間の軸に沿って 2 つの透過鏡を位置決めするステップとを含み、

前記 V 溝を形成するステップが、前記 V 溝を形成するために (1 1 1) 面に沿って前記結晶基板支持構造体を異方的にエッチングするステップを含む、
方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 6】

図４は、複数の光学部材の第１の配置４００について光ファイバーシステム２００の端部２１４、２１６の方向付けを示す例示的Ｖ溝実施形態の構成図である。図５は、複数の光学部材の第２の配置５００について光ファイバーシステム２００の端部２１４、２１６の方向付けを示す例示的Ｖ溝実施形態の構成図である。光学部材の限定されない実施例は、ボールレンズ４０２、透過鏡４０４、および偏光フィルター４０６を含む。任意の数の選択された光学部材４０２、４０４、４０６が、中央Ｖ溝部分２０６内に置かれてもよく、そのような選択された光学部材４０２、４０４、４０６が、任意の望ましい方法で構成されてもよいことが理解される。

【誤訳訂正３】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００２８

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００２８】

Ｖ溝２０４は、光ファイバージャイロ１０２内の他の光学部材の配置および／または整列を容易にするために使用されてもよい。上で述べられたように、光ファイバーシステム２００の端部分１３８、１４０は、軸２１２に沿ってお互いに実質的に整列される。それゆえに、中央Ｖ溝部分２０６の自由空間の中を通る光の進行の経路は、Ｖ溝２０４の位置に対して決定でき、さらに詳細には、軸２１２に対して決定できる。したがって、ボールレンズ４０２、透過鏡４０４、偏光フィルター４０６、または同様のものなどの他の光学部材は、端部分１３８、１４０に対して所望の位置で、中央Ｖ溝部分２０６内に置かれてもよくおよび／またはそれと全体的に整列されてもよい。すなわち、他の光学部材は、Ｖ溝２０４の周知の位置に対して位置付けられてもよく、さらに詳細には、軸２１２に対して位置付けられてもよい。